

PHILIPS 環境に対する取り組み

世の中的に持続可能な開発目標（SDGs）への関心が日増しに高まっている昨今、企業も、脱炭素やESGなどに関する取り組みについて、ステークホルダーから取り組みを問われ始めている状況となっております。さらにそれは、サプライチェーンや顧客までのグリーン調達という視点でも重要視されてきております。

御社は、このような時代の変化に則り、環境に配慮したメーカー製品を選べておりますでしょうか？

☑ Philips 液晶ディスプレイ,デジタルサイネージは、生産効率UPや都市づくりに貢献するだけでなく環境配慮に関する取り組みを積極的に行っております。

01. 省資源化パッケージ

環境に配慮した発泡スチロールを使用しない製品パッケージ（以下「省資源化パッケージ」）の開発・導入に取り組んでおります。2024年6月現在、フィリップスは30製品以上もの省資源化パッケージ対応「液晶ディスプレイ」を日本で販売いたしております。また、信号ケーブルをまとめるケーブルバンドはプラスチック製のものを使っていましたが、現在は省資源化パッケージの導入とともに、紙素材（中の芯は金属）のバンドを使用し始めております。

02. グリーンアクセサリ

ディスプレイ製品に同梱していた製品マニュアルなどが記憶されている「プラスチック製CD-ROM」を2022年12月より全面的廃止

03. グリーン保守

修理時の往復送料を無料化することで、液晶ディスプレイをご使用いただいているエンドユーザー様と直接不具合製品の回収からお返しをさせていただくことで、製品運搬を販売店様を介さないことでトラック使用を軽減し、間接的に温室効果ガスの削減へ貢献。

04. グリーン宣言

今後のサプライヤー選定の一つの基準になる可能性があるSBT（Science Based Targets）。Philips液晶ディスプレイを選定いただく中で、現在まで多数の大手企業様よりSBTの取り組みについて確認がありました。Philipsディスプレイとしての取り組みについては次ページ！

PHILIPS 環境に対する取り組み

SBT (Science Based Targets) とは…

パリ協定が求める水準と整合した**企業の温室効果ガス排出削減目標**のことです。

フィリップス液晶ディスプレイとして、CO2排出量を2030年までに42%削減する目標を宣言しました。

Scope1

事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
(燃料の燃焼、工業プロセス)



燃料の燃焼

Scope2

他社から供給された電気、
熱・蒸気の使用に伴う間接排出



電気の使用

Scope3

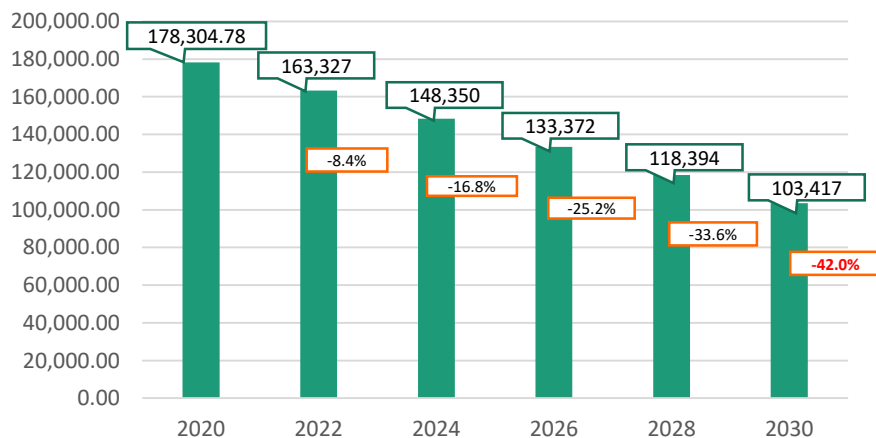
Scope1、Scope2以外の間接排出
(事業者の活動に関連する他者の排出)



その他: 資本財、Scope1.2に含まれない燃料・エネルギー関連活動、廃棄物、出張、リース資産、
配送、製品加工、リース資産、フランチャイズ、投資

参照: https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/GHG_target_settei_manual.pdf

Scope1&2目標



Scope3目標

